

コンピュータチェック事例コード

48IY00X204000_6173001Q1

コンピュータチェック内容

ファンギゾンシロップ100mg/mLが医薬品添付文書に記載された最大投与量を超えて算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

医薬品添付文書の用法・用量より、「通常小児に対し1回0.5～1mL〔アムホテリシンBとして50～100mg（力価）〕を1日2～4回食後経口投与する」と示されております。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 48.28%
- 検証対象都道府県 38

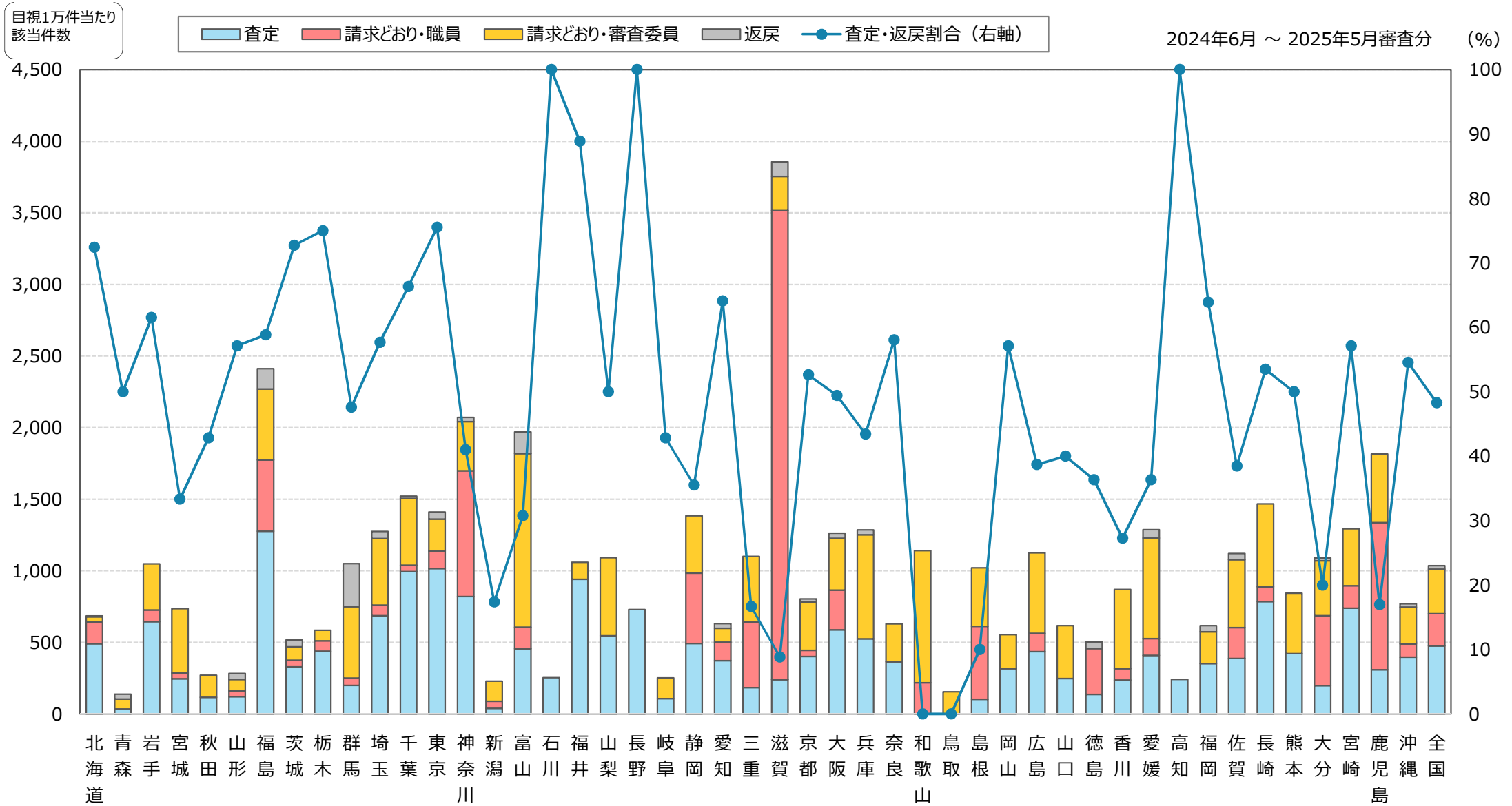
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	和歌山、鳥取、滋賀、島根、三重、鹿児島、新潟、大分、香川、富山、宮城、静岡、徳島、愛媛、佐賀、広島	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	滋賀、鹿児島、神奈川、島根、福島、静岡、大分、三重、徳島、大阪、和歌山、佐賀、宮崎、北海道、富山、広島	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	富山、和歌山、兵庫、愛媛、長崎、広島、香川、山梨、群馬、福島、鹿児島、佐賀、千葉、埼玉、三重、宮城	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数 (全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,332件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,126件
		1,206件

コンピュータチェック対象:ファンギゾンシロップ100mg/mL (医薬品)

医科



該当件数	116	4	13	36	7	7	34	11	16	21	52	101	233	139	23	13	4	9	6	7	7	76	39	12	113	38	352	76	31	21	2	10	28	62	10	11	22	22	2	72	26	43	14	165	140	53	33	2,332
請求どおり件数	32	2	5	24	4	3	14	3	4	11	22	34	57	82	19	9	0	1	3	0	4	49	14	10	103	18	178	43	13	21	2	9	12	38	6	7	16	14	0	26	16	20	7	132	60	44	15	1,206

【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数